

事例発表「坂出市における認知症初期集中支援事業について」

香川県坂出市かいご課地域包括支援センター長 中西佐知子

・坂出市は高齢化率も高く、また平成 29 年度の調査から推定すると高齢者の 3 人に 1 人が認知症もしくは認知症が疑われる方であり、早急な取組みが必要な状態。

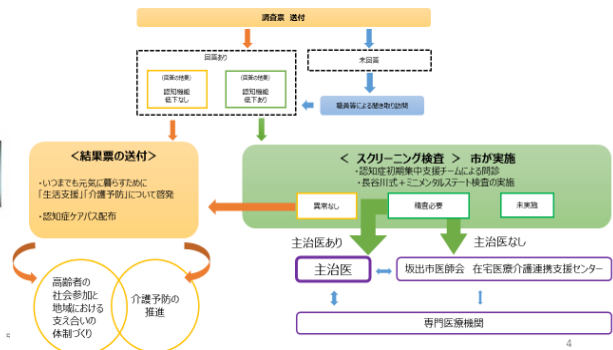
・これからの認知症ケアにあたっては、認知症の初期段階における早期診断・早期対応が必要である。そのため坂出市では、70 歳の方全員を対象に「もの忘れ・けんしん」という調査票を送付するスクリーニング検査を平成 29 年度より実施し、認知症の早期診断・早期対応及び介護予防・認知症予防のきっかけづくりをしている。調査票に対し未回答だった場合は、地域包括支援センターの職員が訪問している。

・家族や近隣住民、警察などから寄せられた認知症の方に関する相談・情報を踏まえ、認知症初期集中支援チームが対象者に訪問を行うことにより具体的な情報収集を行い、チームの検討委員会で対応方針を策定し、支援を行っている。対象件数は年に 30 件程度。チームの保健師や作業療法士などが訪問を実施しているが、当事者の状況等に応じ、認知症サポート医が訪問する場合もある。

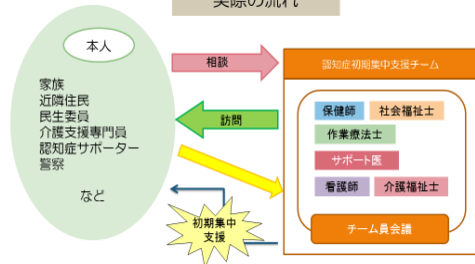
・家族や地域の適切なサポートがあれば、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活することはできると考える。そのためには誰もが「認知症について正しく知る」ことが大切であり、理解を深めるための普及・啓発の推進も重要。坂出市として、今後も当事者やその家族が自分らしく暮らせるよう支援を進めていきたい。

認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- 認知症サポーターの養成と活動支援
- ★ 認知症サポーター養成講座
- ★ 認知症サポーターフォローアップ研修開催



実際の流れ



認知症のかたや家族、地域とのかかわりで感じたこと...

家族や地域の適切なサポートがあれば、認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく生活することができる。

そのために、だれもが「認知症について正しく知る」ことが大切である。

認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進